

特別企画：神奈川県内の「新型コロナウイルス関連倒産」動向調査 <速報>

神奈川県内「コロナ倒産」、200 件に達する

～全国で3番目、業種別ではサービスが53件で最多～

調査結果（要旨）

- 新型コロナウイルスの影響による神奈川県内の倒産（法的整理・事業停止、負債1000万円未満も含む）は5月23日、200件に達した。都道府県別では、東京都、大阪府に次ぐ全国3番目
- 第1号のコロナ倒産は2020年4月に判明した（有）式典さがみの（葬儀業、相模原市、破産）。月別にみると、2022年1月に月間最多となる16件の倒産が発生
- 負債総額は合計億380億7900万円で、1社あたりの平均負債額は1億9000万円。負債トップはパン小売の（株）ベルベ（負債58億8800万円）。負債別では、「1億円未満」が122件で全体の61.0%を占めた
- 業種別では、「サービス業」が53件（構成比26.5%）でトップ。以下、「小売業」（52件）、「建設業」（29件）と続く。地域別では、「横浜市」が95件（同47.5%）で最多。以下、「川崎市」（24件）、「相模原市」（16件）などとなっている
- コロナ禍が長期化するなかで経営体力が疲弊している中小企業・小規模企業は数多い。今年からコロナ対応融資の返済がスタートする企業も増加することから、今後も「コロナ倒産」は高水準が続く見通し

神奈川県内の主な「新型コロナウイルス関連倒産」（負債は推定含む）

	商号	業種	負債 (百万円)	所在地
1	(株) ベルベ	パン・洋菓子店経営	5,888	大和市
2	(株) 丸う田代	水産練り製品製造	2,600	小田原市
3	(株) コスメティック・アイダ	化粧品製造	2,600	大和市
4	国上精機工業（株）など2社	プラスチック 関連部品製造	2,400	横浜市
5	(株) エンゼルホーム	不動産開発	2,194	横浜市

神奈川県内「新型コロナ関連倒産」

月	2020年		2021年		2022年	
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)
1	-	-	14	1,024	16	2,878
2	-	-	7	3,123	12	2,761
3	0	0	8	765	7	310
4	2	400	11	3,446	9	710
5	4	947	8	978	3	339
6	4	764	8	1,202		
7	3	859	8	2,387		
8	5	299	4	727		
9	5	391	12	634		
10	10	4,168	13	763		
11	6	1,127	9	6,212		
12	4	252	8	613		
合計	43	9,207	110	21,874	47	6,998

※ 集計開始＝2020年3月

業種別件数・構成比

サービス業	53	26.5%
小売業	52	26.0%
建設業	29	14.5%
卸売業	27	13.5%
製造業	21	10.5%
運輸・倉庫業	9	4.5%
不動産業	7	3.5%

負債別件数・構成比

10億円以上	6	3.0%
5億円～10億円未満	7	3.5%
1億円～5億円未満	65	32.5%
1億円未満	122	61.0%

地域別件数・構成比

横浜市	95	47.5%
川崎市	24	12.0%
相模原市	16	8.0%
藤沢市	10	5.0%
大和市	9	4.5%
小田原市	8	4.0%

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 横浜支店 情報部

篠塚 悟

TEL 045-641-0380 FAX 045-641-2555

e-mail osamu.naitou@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。